

安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|---------------|----------------|
| ①製品の名称 | :Wストッパー |
| ②会社名 | :株式会社エヌ・エス・ピー |
| ③住所 | :岐阜県中津川市苗木9167 |
| ④担当部門 | :住宅部 |
| ⑤電話 | :0573-67-2396 |
| ⑥FAX | :0573-67-2198 |
| ⑦推奨用途及び使用上の制限 | :コンクリート打ち継ぎ止水剤 |
| ⑧作成・改定日 | :2016年3月1日 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 爆発物 | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 可燃性/引火性ガス | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| エアゾール | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 支燃性/酸化性ガス | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 高压ガス | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 引火性液体 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 可燃性固体 | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 自己反応性化学品 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 自然発火性液体 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 自然発火性固体 | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 自己発熱性化学品 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 水反応可燃性化学品 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 酸化性液体 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 酸化性固体 | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 有機過酸化物 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 金属腐食性物質 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |

人健康有害性

急性毒性

| | |
|-----------------|-------------------------------|
| 経口 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 経皮 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 吸入 (ガス) | : 分類対象外 (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 吸入 (蒸気) | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 吸入 (粉塵、ミスト) | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 感作性 | |
| 呼吸器 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 皮膚 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |

| | |
|--------------------|-------------------------------|
| 発がん性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 生殖毒性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 特定標識臓器/全身毒性 (反復暴露) | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 水生環境 | |
| 急性有害性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |
| 慢性有害性 | : 分類できない (シンボル: なし、注意喚起語: なし) |

GHS ラベル要素

この製品は、GHS 基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

有害性: 眼に入ると刺激がある。

環境影響: 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり茶褐色になる。

物理的及び化学的危険性: そのままの状態では燃焼しないが、製品乾燥物は可燃性である。

重要な徴候: 特になし

想定される非常事態の概要: 特になし

国/地域情報: 分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

| | |
|-------------|------------------|
| 化学物質・混合物の区別 | : 混合物 |
| 化学名または一般名 | : エマルジョン防水材 (水性) |
| 成分及び含有量 | : アスファルト 53% |
| | 熱可塑性樹脂 7% |
| | 水 40% |
| 化学式又は構造式 | : 特定できない |
| 官報公示整理番号 | : 該当なし |
| 国連分類及び国連番号 | : 該当なし |
| 安衛法 | : 該当なし |
| P R T R 法 | : 該当なし |

4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で瞼の裏まで15分以上洗浄したのち、医師の手当を受ける。眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とし、外観に変化が見られたり痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 水を分散媒とした揮発性の低い水性液体で吸入の可能性は少ない。
万一気分が悪くなったときは、空気の新鮮な場所に移動し、うがいし安静にする。

飲み込んだ場合 : 口腔を水洗し異常のある場合は医師の手当を受ける。

最も重要な徴候及び症状 : 特になし

応急措置をする者の保護 : 特になし
医師に対する特別な注意事項 : 特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : この製品自体は水を多量に含む為、そのままでは引火・発火等の燃焼性はない。万一、製品乾燥物に着火した場合は次の処置をとる。
水、炭酸ガス、ドライケミカル等一般消火剤。
使ってはならない消火剤 : 特になし
火災時の特有の危険有害性 : 特になし
特有の消火方法 : 製品乾燥物に着火した場合は、注水、水噴射、ドライケミカル等一般消火剤を使用し消火は風上から行う。
消火を行う者の保護 : 状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置
: 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する予防措置
: この製品は、河川、湖沼等に流出すると少量でも広範囲に渡って黒褐色化する。河川への排出等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。流入してしまった場合、流入した河川から飲料水を取水している場合、流れ去るまで取水を中止してもらおう。
封じ込め及び浄化の方法・機材
: 大量の流出時には乾燥砂、土で囲い、流出を阻止する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
二次災害の防止策
: 湖沼、河川に大量に流出した場合、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁に届け出る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策 : 気温5℃以上で取り扱う。
容器はその都度密栓をする。
屋上または換気の良い場所で取り扱う。
注意事項 : 本製品を取り扱う前に必ず、施工要領書、安全データシートを読むこと。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬように適切な保護具を着用する。

保管

技術的対策 : 容器を密閉して、気温5℃以上で直射日光の当たらない暗室に保管する。
水を多量に含む為、禁水性物質と同一場所での保管は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 管理濃度 | : 設定されていない。 |
| 許容濃度 | : 設定されていない。 |
| 設備的対策 | : 洗顔及び身体洗浄のための設備の設置が望ましい。 |
| 保護具 呼吸系の保護 | : 誤飲防止マスクを着用することが望ましい。 |
| 眼の保護 | : 保護めがねを着用する。 |
| 皮膚の保護 | : ゴム、皮手袋を着用する。 |
| その他の保護 | : 特に必要ない。 |
| 適切な衛生対策 | : 取り扱い後は汚染箇所をよく洗う。作業中の飲食、喫煙は行わない。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------|------------------|
| 外観 | : 黒褐色の水性エマルジョン |
| 比重 | : 1.00 |
| pH | : 6 ± 1 |
| 臭い | : 僅かなアスファルト臭 |
| 引火点 | : なし |
| 発火点 | : なし |
| 爆発限界 | 上限: なし 下限: なし |
| 可燃性 | : なし |
| 発火性 (自然発火性、水との反応性) | : なし |
| 酸化性 | : なし |
| 自己反応性、爆発性 | : なし |
| 粉塵爆発 | : なし |
| 安定性 | : 安定 |
| 反応性 | : なし |
| その他 | : 水に可溶 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------------|
| 安定性 | : 通常の保管、取扱条件で安定 |
| 危険有害反応可能性 | : 通常の保管、取扱条件で安定 |
| 避けるべき条件 | : 禁水性物質との同一場所での保管は避ける。 |
| 混蝕危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |

11. 有害性情報 (製品として)

| | |
|--------------------|---------|
| 急性毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : データなし |
| 眼に対する重篤な損傷/刺激性 | : データなし |
| 呼吸器又は皮膚感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 発がん性 | : データなし |
| 生殖毒性 | : データなし |
| 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) | : データなし |
| 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) | : データなし |

吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 魚類 : データなし
甲殻類 : データなし
藻類 : データなし
残留性/分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし
他の有害影響 : 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川、排水溝に直接流れないように対処する。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取り扱いに関する情報

- ・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか委託すること。

汚染容器包装の廃棄方法

- ・使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 分類基準に該当しない
国連番号 : 分類基準に該当しない
品名 (国連輸送品名) : 分類基準に該当しない
容器等級 : 分類基準に該当しない
海洋汚染物質 : 分類基準に該当しない
MARPOL 品名 : 分類基準に該当しない

国内規制

適用法令を参照

特別の安全対策 : 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件

共通 : 取扱い及び保管上の注意の記載に従うこと。容器に漏れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

応急措置指針番号：なし

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 適用を受けない
消防法 : 適用を受けない
P R T R 法 : 適用を受けない
毒物及び劇物取締法 : 適用を受けない

1 6. その他の情報

引用文献 JIS Z 7253 (2012)「GHS に基づく化学品の危険有害情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示及び安全データシート」
化学工業日報社 SDS、ラベル作成実務入門
<GHS、J I S Z 7253 対応>
GHS、SDSに関するホームページ

*注意

安全データシートは危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考条件として取扱い事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用されるようお願いいたします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改定されることがあります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。本製品を使用するに当たって提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行ってください。全ての物質は未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは安全の保証書ではありません。

以上